

2025年（令和7年）
9月21日 曜日
第1989号

京都自動車新聞



京ト協女性部会 眉の書き方レッスン
京整振 検査場の様子を配信開始
軽検協 仮設コースが代替稼働
JUI オータムキャンペーン始まる
◀ 京都三菱 新型デリカミニお披露目

2
5
7
8
6

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内） 電話（075）672-0552 ファクス（075）682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp https://kyotojidosha-np.jp

いすゞ自動車

エルガEV「存在感」高まる

大型路線バス市場リードへ□バス事業者のCN化貢献



次ステージのスタートモデルとして位置付け

同社は中長期戦略の中に「カーボンニュートラル（CN）対応を含めた次世代の商品開発」と「物流進化に向けた新商品開発」の領域での技術革新を挙げ、BEVやFCEV（燃料

中国製のEV（電気自動車）バスが多くを占めていた国内路線バス市場で、いすゞ自動車のBEV（バッテリー式電気自動車）バス「エルガEV」が存在感を高めている。4月に開幕した大阪・関西万博ではシャトルバスに3社が採用したほか、首都圏や名古屋、九州でも大手バス会社が路線バスとして導入し、運行を開始した。高度化・複雑化するニーズに対応するため路線バス市場にさまざまなタイプのバスを投入してきた同社。エルガEVを次のステージのスタートモデルとして位置付け、大型路線バス市場をリードしていきたい考えだ。

公共交通機関に求められているCN化に対し、運行特性との親和性の高さを訴えるほか、走行時のCO₂（二酸化炭素）排出ゼロに加え、低騒音（地域住民への配慮）や災害時における外部への電源供給、メンテナンスコスト低減といった付加価値もメリットに挙げられる。特に車内のフルフラット化による乗客の安全性向上は、エルガEVの大きな特徴だ。

フルフラット化で安全性向上

エルガEVは、公共交通におけるCN実現を目指すために国内初のBEV路線バスとして開発され、国が掲げる2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロに貢献する車両として、バス事業者の脱炭素化への取り組みに貢献すると注目を集める。

「路線バスは決められたルートを走行するため1日の運行距離が容易に推定でき、エルガEVがCN対応の有力な選択肢の一つと認識している」（同社）。

△を採用したことにより、バス事業者は自社内のパソコンでバッテリー残量や航続可能距離、充電状態といった情報が把握可能。データに基づく予防整備や故障検知により高度純正整備が行えるようになり、「従来と変わらない安心・安全が提供できる」（同社）。

は、OBD（車載式故障診断装置）車検の本格運用を控えていたことから、スキャンツールなどへの注目が集まった。その流れは今年の出品リストにも反映され、特定整備関連機器やサービスの展示が目立った。

また、両日とも無料セミナーが開かれ、㈱フロードリーフの渡邊昇エリアマネージャー、㈱ジェイシーレゾナンスの松永博司社長、㈱BlueFinbackのチェンジャック社長が登場。自動車整備業市場の展望やコンプライアンス強化、補助金活用などの業界が注目するテーマが目白押しとあって、各回とも多くの受講者が集まり、熱心に耳を傾けた。

井上社長は「冷房設備や省人化・省力化関連の製品を展示する企業が増える傾向が見られる。背景にあるのが、業界が抱える人材不足。職場環境の改善を図って人材確保に努めたい、生産効率を高めたい整備事業者のニーズを反映した展示会になったのではないかと」。

約430社650人来場

大黒商会 オートビジネスフェア

㈱大黒商会（井上雅文社長）は9月5、6日の両日、京都パルスプラザ（伏見区）で、「オートビジネスフェア2025」を開催し、およそ430社から650人の自動車業界関係者が来場し、活況を呈した（関連記事8面）。

2年連続の京都開催と6月開催だった昨年

は、OBD（車載式故障診断装置）車検の本格運用を控えていたことから、スキャンツールなどへの注目が集まった。その流れは今年の出品リストにも反映され、特定整備関連機器やサービスの展示が目立った。



また、両日とも無料セミナーが開かれ、㈱フロードリーフの渡邊昇エリアマネージャー、㈱ジェイシーレゾナンスの松永博司社長、㈱BlueFinbackのチェンジャック社長が登場。自動車整備業市場の展望やコンプライアンス強化、補助金活用などの業界が注目するテーマが目白押しとあって、各回とも多くの受講者が集まり、熱心に耳を傾けた。

井上社長は「冷房設備や省人化・省力化関連の製品を展示する企業が増える傾向が見られる。背景にあるのが、業界が抱える人材不足。職場環境の改善を図って人材確保に努めたい、生産効率を高めたい整備事業者のニーズを反映した展示会になったのではないかと」。



京都日産

京都府下26店舗

〒601-8446 京都市南区西九条高島町45
お客様相談室 0120-11-5523
https://ni-kyoto.nissan-dealer.jp